

ごみ出し時のカラス対策を紹介します！

平成28年6月作成
市川市 循環型社会推進課

☆食材を計画的に買い、
使い切る「使いきり」と
使い切った食材を食べ切る
「食べきり」を実践してみましょう！



☆生ごみは指定袋の中心に
入れてみましょう



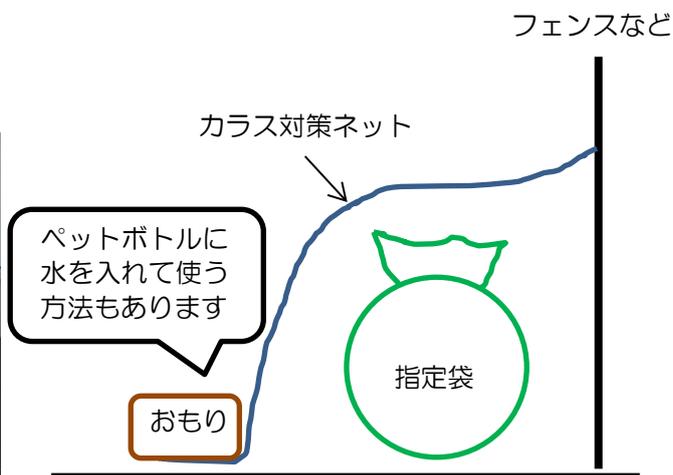
カラスは人が見えない紫外線を見ることができると言われているほど視覚に優れているため、的確に生ごみの場所を把握しごみ置場を散らかしていきます。



まずは、生ごみを減らすことから始めてみましょう。カラスに生ごみが届かないよう物理的対策を取ることにも有効です。

<裏面でカラス対策ネットの正しい使い方をご紹介します>

☆カラス対策ネットは、指定袋を完全に覆うようにして使用してください。おもりを足して隙間をふさぎ、カラスが指定袋を引き出せないようにすることも有効です。



正しい使用例

指定袋がネットからはみ出ていたり、ネットの上に置いてしまうと、せっかく対策をしてもカラスに荒らされる原因となります



誤った使用例

再度確認してください！市川市のごみ出しルール

- 正しく分別（12分別）する。
- 収集日の午前8時まで、決められたごみ集積所に出す。
- 燃やすごみ、燃やさないごみ、プラスチック製容器包装類は、市川市の指定袋で出す。